

りに千年希望の丘をつくるのか。

**市長** 具体的な話になった場合は、十分な説明をして理解を頂き、進めたいと思います。

**問** 集団移転をしてから千年希望の丘をつくるべきではないか。

**市長** 計画しているのは、原則として国有林、県有林、市有林という公有林を第一に考えています。集団移転をされれば跡地を利用することになりますし、そのまま住まわれる場合は、丘をつくることは難しいです。

**私有地の色付けなぜ**

**問** グランドデザインで私有地を色付けしたのはどういう意味か。

**市長** この配置はイメージであり、具体的なものを決定したわけではありません。

**問** この土地所有者には市議会議員がいる。変えるべきではないか。

**市長** 全く変える必要はないと思います。

**問** 市が移転促進区域を設定しないと国の補助が認められない。する考えはあるか。

**市長** この防災集団移転促進事業を活用して集団移転を行うには、集団移転促進事業計画を策定し、国土交通大臣の同意を得ることが制度上必要となります。

**震災対応**



梶谷 洋夫

**問** 震災の津波を防ぐ、高台の丘を設ける計画が示され、その盛土に震災がれきを大量に使用する考えのようだが、震災がれきは有害物質も含んでいる一般廃棄物であり、使用すべきものではないのではないか。



海浜緑地公園のがれき (6月29日撮影)

**市長** 有害物質を使う考えは全くありません。土質、環境工学等の専門家の意見を聞きながら、間違いのない方向で取り組んでいきたいと思えます。

**誘致は安全な場所に**

**問** 空港周辺に国際的な医療産業を誘致する考えが示されている。この場所は、今回のような大津波が来たら被害を受ける場所ではないか。別の安全な場所に誘致すべきではないか。

**市長** 被災した地域の産業振興、雇用の場の確保、医療分野の地域貢献を目指しており、岩沼全体の企業誘致を第一義的に考えたものではありません。

**問** 今回の震災で東部地区の6集落は甚大な被害を受けている。被災者と話し合いをすることが最も重要ではないか。

**市長** 井口市長の顔が見えないといったような指摘も頂いています。岩沼の復興、復興ができるだけ早く進められるよう職員と一体になり、しっかりと対応していかねければならないと思えます。

**子どもたちや市民を守る放射能対策**



渡辺ふさ子

**問** 子どもたちの安全のために学校や通学路、公園等のミニホットスポットを測定し、結果を踏まえ、表土の除去や植え込みの剪定、側溝掃除などの除染を継続していくべきではないか。

**市長** 今の段階では調べるまでではなく、全体として放射線量が上がれば、測定箇所を増やし、何らかの対応が必要だと思えます。

**住民の安全は慎重に**

**問** 雨が降り、蒸発し、濃縮して汚染稲わらの問題が起きた。国の安全対策の遅れ、東電の責任ではあるが、研究者の間で解釈が分かれている時、行政の立つ立場は、世界保健機構(WHO)の予防原則の考えで住民の安全を守り、慎重であるべきではないか。

**市長** 学者の意見がいろいろ違うことも分かりますが、

現時点では特別問題ではないと言われています。普通に生活していただければと思います。

**問** 市民の情報を基に対策を講じる考えはないか。

**市長** 情報提供は非常にありがたいと思います。除染等を行うべき状況の時には、速やかに対応したいと思います。

**問** 給食の食材は検査と結果、産地を公表すべきでは。

**教育長** 一部の産地等は、献立表や給食だよりでお知らせしていますが、市独自に食材の検査と結果や産地の公表は考えていません。

**震災復興計画  
グランドデザイン**



加藤 政勝

**問** コミュニティを大切にした集落再生にどう臨むか。

**市長** 被災者が孤立せず、従来からの生活が維持でき、また、地域で自分の役割があり、自分らしく生活を続